

わくわく 本だな



おすすめえほんとしゅう

★ = 1・2年
★★ = 3・4年
★★★ = 5・6年

『 ドングリ・ドングラ 』

コマヤスカン／作 くもん出版



とおくのしまで、山から火がふきだしました。ドングリたちは、そのきけんなしまへむかって、ぼうけんのたびにでます。

『 ぼくのジィちゃん 』

くすのきしげのり／作 吉田尚令／絵 佼成出版社



ぼくのジィちゃんが、リレーにでることになりました。ビリだとおもっていたジィちゃんが、だいかつやく！

『 ネコのナペレオン・ファミリー 』

木坂涼／文 はたこうしろう／絵 福音館書店

ナペレオン氏の3びきの子どもたちは、いたずらばかり。とうとう、ネコの学校をおいだされでしまいました。



『 にしきのなかの馬 』

やえがしなおこ／作 つかさおさむ／絵 童心社

むかし、あやというむすめが、はなればなれになってしまった大切な馬を、さがしにでかけました。すると、ゆめに馬がでてきて…。



『 リゆうがあります 』

ヨシタケシンスケ／作・絵 PHP研究所



ぼくが、ハナをほじってしまうのには、りゆうがあるんだ。ハナのおくには「ウキウキビーム」のスイッチがあるんだよ！

『 マララとイクバル 』

パキスタンのゆうかんな子どもたち 』

ジャネット・ウィンター／作 道傳愛子／訳 岩崎書店



がっこうでべんきょうするけんりをまもるため、いけんをはっぴょうしたマララ。しかし、それはきけんなことでした。



『妖怪いじわるひょうしき』★

土屋富士夫／作・絵 PHP 研究所

ひでくんが、かえり道をいそいでいると、とつぜん、ひょうしきがはなしかけてきました。「近道していきなよ。」というのです。



『アレハンドロの大旅行』★

きたむらえり／さく・え 福音館書店



なにもおしゃべりしない、イノシシのアレハンドロ。しんぱいしたかぞくは、とおくのおかまで、たびをさせることにします。

『だいじょうぶカバくん』★★

ダニエル・ネスケンス／作 ルシアーノ・ロサノ／絵

宇野和美／訳 講談社



動物園から、アフリカへもどろろとカバがだっそうしました。けれども、帰り道がわかりません。どうしたらいいのでしょうか？

『リリコは眠れない』★★★

高楼方子／作 松岡潤／絵 あかね書房

眠れない夜、リリコがおきにいの絵を見つめていると、絵の中の少女が動きだします。気がつくと、リリコは絵の中にいました。



『かぐや姫のおとうと』★★★

広瀬寿子／作 丹地陽子／絵 国土社

想は、竹林で「いささ丸」というふしぎな少年と出会う。千二百年前から、生まれかわりをくりかえしてきたというのだ。



『むこうがわの友だち』★★★

小浜ユリ／作 柴田純与／絵 ポプラ社



6年1組には、いたずら好きの女の子「学級わらし」がいます。その姿はだれにも見えないけれど、たしかに教室にいます。

『ぼくはフクロウを飼っている』

(ちしきの本)

下田智美／作 偕成社



フクロウを飼いたいと思ったコウタ。おかあさんのすすめで、まずはフクロウがどんな鳥なのか、しらべることになりました。

『アドベンチャーワールド

パンダをふやせ！』(ちしきの本)

深光富士男／文 佼成出版社

和歌山県にあるアドベンチャーワールドでは、多くのパンダが生まれています。パンダをふやすには、ひみつがありました。



「わくわく本だな7・8月号」は、お休みします。つぎの「わくわく本だな」は、9月にでるよていです。おたのしみに・・・！

読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200